

公開・非公開の別

公開  部分公開

非公開

※「(1) 審議の内容」における記号の説明

「○」…委員の発言

「◎」…委員の質問に対する事務局の回答

## 第4回浜松市斎場再整備事業における

### 浜松市 PFI 等審査委員会会議録

- 1 開催日時 令和5年2月9日(木)午後1時30分から
- 2 開催場所 浜松市地域情報センター3階研修室
- 3 出席状況 出席委員 伊庭良知(一般社団法人国土政策研究会)  
寒竹伸一(静岡文化芸術大学)  
山田夏子(日本公認会計士協会東海会静岡県会)  
石切山真孝(財務部)  
奥家章夫(市民部)  
事務局 市民生活課  
佐藤課長、藤原補佐、小池主幹、齋藤副主幹、  
根本主任、清陀主任
- 4 傍聴者 非公開の為、0人
- 5 議題、内容及び結果  
(1) 審議の内容

議事 事業者の審査、選定方法について

(質問)

○どのような考えで、価格点と提案点の点数配分にしているのか。

◎最初に提案点を積み上げ、価格点は、提案点に対して総合点の3割の点数になるような形で設定している。

(意見)

○提案審査はA～Eの5段階評価としているが、どのような考えで評価付けするのか。

◎標準的な提案である場合には、C評価をつけていただくことを考えている。

○標準的な提案とはどのようなものを言っているのか。委員各自で判断して点数をつけてくださいと言われると、BCD評価はつけやすいが、一方でA評価はすごく素晴らしいという感じがしてためらったり、一生懸命提案してくれた人にE評価をつけるのは失礼などと思ったりもする。それで審査員間で評価がバラついて困るので、評価付けのルールなどがあるとやりやすい。

- ◎委員間でのバラつきを防ぐ考えとしては、令和5年9月に委員会を2回開催する予定だが、1回目の委員会において、評価基準の標準をお示しさせていただいたうえで、仮採点と採点について意見交換を行い、2回目の委員会では、事業者プレゼンを受けて評価をしていただき、委員間で考え方が違うものに関しては議論いただき、最終的な点数を決定していただくという流れを考えている。
- 標準を市で示せるのだったら、PFIで提案していただかなくても別に市でやればいいのではないかという感じにもなってしまう。基本的には、要求水準どおりが標準でないか。逆にさらに標準を示せてしまうとしたら、要求水準自体、そのレベルにするべきという話になってしまう。
- 今の評価方法では、問題が2つある。1つは、標準的な提案というラインを設定することが難しいという点。もう1つは、点数比率を7対3にして提案点で選びたいという市の思いがある一方で、EとかD評価がつくことでトップを取る人の点数が下がっていったときには、こんな低い点数で選ぶのかという単純な話と、価格点の比率がものすごく上がってしまうという話である。
- 価格点差が物を言うのではなく、重要視する提案点の7割のところ差をつけられるよう各提案の点数がかたまらないように、相対的に順番をつけたらどうか。
- 例えば提案が3者出てきたならその3者の提案について、着眼点1の①についてまず順位づけをしましょうと。その順位づけに従って、例えばAとCとEの評価をつけてくださいと委員会としてのルールを決めるやり方もある。
- 順位づけに従い、評価を割り当てることについては反対である。優秀なものは優秀であるのに、順位になると、同じぐらいの価値があるものでも2位には必ず点数を引かざるを得なくなってしまう。優秀なものには点数をあげていくという形で、順位づけはちょっと評価するのにどうなのかというところがある。一番心配するのは、各委員の提案点が厳しい点数で、トップが50点ぐらいしか取れなかったときを心配している。
- 要求水準書を満たしているだけだとE評価になるのか。もしくは要求水準を満たしていればC評価になるのか、であるとDやE評価はそもそも失格になるので存在しないのでは。
- 要求水準を満たす最低基準をどこに置くかという話の中で、それをE評価で置くということなのだとしたら、5段階中のA評価はどれほどのものかという話にもなるので、3段階もしくは4段階評価でもいいのではと思う。
- 5段階評価の立て付けはまだ変更可能なのか。
- ◎公表前なので変更可能である。
- 事務局が事前に要求水準を満たしていると確認できた提案が委員会に上がってくるので、委員会で審査する提案は少なくとも要求水準レベルの標準的なC評価は満たしているので、D、E評価は無くしてはどうか。
- ◎基本的に要求水準というのは市が求めているレベルなので、事務局の基礎審査を通過すれば、我々も感覚とすればC評価なのかなというイメージで捉えている。今は5段階になっているが、4月に公表する段階では修正したもので公表する。

- 1つ思うのは、3段階評価となったときには、ばらついても上と下は2つしか違わない。事務局が5段階評価にしたのは、例えば5者の提案が出たとしたら、綺麗に5者が縦に並ぶぐらいのばらつきを持たせたいという意思で5段階を作ったのだと思うが。
- 重要なのは、ばらつきが出るかではなくて、トップの提案者でも提案点が取れなかった時が問題であるということ。ばらつきが出ないということは、それだけ各者とも優秀な作品であるという結果なので、僅差になることは全く問題ないと思う。
- 平均点で点数を積んでくる事業者と、1位の評価をたくさん取って点数を積んでくる事業者が僅差となった場合のことも考えて、単純に各委員の評価点を平均するだけでトップを決めるのは危険で、点数の結果と委員間での話し合いをした上で、トップを決めるべきである。
- 点数配分は、いままでの議論を受けて改めて事務局に任せた方がいいか。
- ◎事務局で点数配分について議論を踏まえ修正する。
- 今日議論したことが保証されるような点数配分にしてもらえると良い。
- リスク管理の審査項目について、審査の視点では浜松斎場と雄踏斎場の各特性を踏まえたリスク管理ができているかと質問しているので、提案としてはおそらく斎場ごとに別々で出てくると思うが、点数配分は斎場ごとに分かれていない。委員各自で勝手に判断して点数を付けなさいということか。
- ◎リスク管理はご指摘の通り、斎場毎に切り離せる話なので修正したい。
- 今の全体計画の項目の点数配分のままで、内数だけ斎場ごとに分けてもらえればよい。
- 地域経済への貢献の項目についても、浜松斎場と雄踏斎場で考えが違う可能性がある。場合によってはこの項目も切り離した方がよい。
- ◎リスク管理とあわせて、地域経済の貢献の項目も再構成させていただく。
- 審査項目の点数一覧表について、浜松と雄踏でナンバリングにずれがあったりして分かりにくい。もう一列通し番号をつくった方が分かりやすい。
- ユニバーサルなデザインで見やすい表に修正してもらえるか。
- ◎点数一覧表についても、修正させていただく。

(決定)

- 事業者審査選定方法について、今回の審議内容を踏まえ4月に公表していくということで、同意される方は挙手をお願いします。

全委員より同意を得たため、事務局は入札説明書等の公表手続きを進める。

## 審議の結果

- 議事1 審査、選定方法は審議内容を踏まえ、事務局にて公表手続きを行う。

- 6 会議資料の名称 次第、資料1 浜松市斎場再整備事業 入札説明書(案)、資料2 浜松市斎場再整備事業 落札決定基準(案)、資料3 浜松市斎場再整備事業 提案書等作成要領及び様式集(案)
- 7 発言内容記録方法 文字 / 録画 /  録音
- 8 会議録署名人 寒竹伸一  
奥家章夫